



サイジャーナル

月刊
2-9・10
第453号

日本サイ科学会 令和2年9月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	中 部 〒455-0053 名古屋港区 名四町113 眞 野 博 英 ☎ 090-9196-2963	北 陸 〒920-0031 金沢市広岡2-7-25 プレミスト金沢駅西口1 804号 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 2034	関 西 〒545-0034 大阪市阿倍野区 阿倍野元町1-2 和 田 高 幸 ☎ 06 (6624) 0569・FAX 06 (6624) 5061	九 州 〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX 095 (883) 6159
---	---	--	---	---

九月通常総会・本部例会のお知らせ

※会員は午後1時30分から通常総会、一般の方は午後2時からの本部例会からご参加願います。

日時 令和2年9月19日(土)

午後1時30分～2時 通常総会
午後2時10分～4時40分 講演

会場 北とぴあ9階901会議室
交通 J R 京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員二千円(当日入会可)
一般三千円 学生一千円

講演

多能性幹意識の誘導による超能力の覚醒とシーター波の脳波(iPT意識)

講師 山崎 正男氏

超能力の真意を問う不毛の論争は、古今東西続いています。いまだに結論は出されておられません。その背景にあるのは科学的根拠に

◎事務局からのお知らせ

新型コロナウイルスが再度感染が拡大し、第2波が来た場合は、9月以降の本部例会、全国大会、分科会等は中止になる可能性があります。

遅くとも開催一週間前には公式サイト、会員メーリングリスト(登録者のみ)で、開催の可否をお知らせ致しますが、必ず開催日前日も公式サイトでご確認願います。

基づくエビデンスの欠如であり、そのコンセンサスが得られないからです。しかしながら、30年間にわたり超能力の解明という命題に取り組んできた結果、超能力は六番目の知覚機能であることを発見し、「iPT意識」のタイトルで学術論文を執筆しました。

釈迦牟尼ブッタは、2500年前に瞑想により不可思議なビジョンを体験し、そのビジョンを「悟り」として仏教の開祖になった、ブッタは超能力の第一人者だったのです。

透視、予知、過去知、体外離脱、臨死体験、テレパシー、テレポーテーション、遠隔気功、念力、霊能力、霊視、心霊手術、特異効能、

今月号の記事

◎九月通常総会・本部例会のお知らせ

◎事務局からのお知らせ

◎御寄付御礼

◎関西日本サイ科学会九月、十月研究集会のお知らせ

◎十月全国大会プログラム

◎第11回スピリチュアル研究分科会のお知らせ

◎平成31年4月本部例会の報告Ⅱ

◎第四四九回関西サイ科学会報告

◎第四五〇回関西サイ科学会報告

◎本部例会ビデオ映像販売

◎関英男先生関連書籍の販売

◎「掛け軸・信仰対象物」にもサイ「気」が保存されている

◎日本サイ科学会と『UFO』そして『ダウジング』の現在

透聴、直観、物質化現象、アブダクション、知的生命との交信、オーブ現象、仏教の悟り、このような超常現象、超能力は、変性意識状態で覚醒するのです。そして、多くの人が超能力を覚醒すれば、政治、経済、教育、文化、芸術、科学、医学、スポーツ、音楽、農林水産などさまざまな分野で、人

類は計り知れない恩恵を受益できます。講演では超能力のメカニズムと覚醒のメソッドを分かりやすく解説します。

※山崎正男氏は長年、「サイ」を多方面から科学的研究を続け、その成果により一般人でも超能力を發揮できるシステムを開発されました。会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

◎山崎正男氏プロフィール

MSU Mindanao State University
Dr. Masao Yamazaki, Ph.D. 医学博士、名誉教授。

欧米、欧州、東南アジアを歴訪し東西医学の研鑽を積む傍ら、脳生理学と脳波の観点から、「気の医学」の有効性を実証し、代替・補完医療のEBMを確立する。30年間の研究、臨床試験から、『超感覚外知覚』(ESP)という六番目の知覚機能を発見し、そのメカニズムを解明して学術論文を執筆する。

日本iPT意識研究所所長、上海国際医学気功学会組織委員、日本プロスポーツリハビリセンター院長、国際気功科学アカデミー学院長等歴任、国内外に多くの門下

生を輩出している。新聞、週刊誌、書籍、テレビ、ラジオ、出演多数、著書、人類革命、気功の鉄人他、アピナ出版。

「心を科学する博物館」と

一般の御寄付御礼

(7/31受領分まで)

- 金二十五万円也 匿名 様
- 金三万円也 大畑 善夫 様
- 金一万一千円也 原口 和恵 様
- 金六千円也 匿名 様
- 金一千円也 小林 信正 様
- 金一千円也 信太 民久 様
- 金一千円也 東條多美代 様

関西日本サイ科学会
九月研究集会のお知らせ

知られざる童謡(わざうた)の世界
〜童謡は「言霊」の結晶〜

講師 慈の(よしの)氏
(ジャズシンガー・童謡の唄い手)

ピアノ 津村 和泉氏

日時 令和2年9月19日(土)
13時30分〜17時(開場13時)

会場 まつむし音楽堂(大阪市阿倍野区阿倍野元町1・2)

交通 御堂筋線「天王寺」、近鉄南大阪線「阿部野橋」で阪堺電車上町線に乗り換え「松虫」下車すぐ。

会費 会員及び同伴の家族二千円
一般三千円(初回参加者二千円)

学生一千円

問合せ06・6624・0559

※事前予約が必要です。

関西日本サイ科学会
十月研究集会のお知らせ

現役医師が体験した未知のサイ現象について
〜UFOの目撃を巡る異常体験と身体的影響など〜

講師 高木 伴幸氏
(内科医師、医学博士)

日時 令和2年10月17日(土)

会場 13時30分〜17時(開場13時)
まつむし音楽堂(大阪市阿倍野区阿倍野元町1・2)

交通 御堂筋線「天王寺」、近鉄南大阪線「阿部野橋」で阪堺電車上町線に乗り換え「松虫」下車すぐ。

会費 会員及び同伴の家族二千円
一般三千円(初回参加者二千円)

学生一千円

問合せ06・6624・0559

※事前予約が必要です。

◎十月全国大会のお知らせ

新型コロナウイルスのパンデミックにより、人類は予想外の脅威にさらされることになりました。ワクチン、治療薬の開発が急務ですが、我々自身ができる自己防衛としましては、免疫力を高める事が第一だと考えます。それによりウイルスからの防御だけでなく、がん予防にも大いに効果があるでしょう。パネルディスカッションでは質疑応答も含み、皆様に役立つシンポジウムに致します。

★日本サイ科学会 第29回全国大会★

(特別協賛：サトルエネルギー学会)

(日時) 2020年10月24日(土) 10:00～16:40

(会場) 北とぴあ7階第1研修室

(交通) JR京浜東北線王子駅下車徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

(会費) 会員 ¥4,000(含当日入会申込者) 一般 ¥5,000 学生 ¥3,000
上記会費は、予稿集代を含みます。

※サトルエネルギー学会会員は会員会費となります。

<プログラム> (敬称略)

9:30 開場

10:00～10:10 開会のご挨拶 浪平 博人 会長

◎第1部：会員の研究発表(4名)(各20分発表、5分質疑応答／1人)

10:10～10:35 瀬尾 泰範「CD 100万枚以上セール実績のあるシンガーソングライターの出生チャートの統計的解析」

10:35～11:00 橋谷 誠一「手のひら画像を用いた外気の客観評価の可能性検討」

11:00～11:25 竹本 良「宇宙生命体スタピのスーちゃんとの遭遇」

11:25～11:50 栗田 慶祐「心と物質(透視と念写)について」

11:50～12:50 昼休み(60分)

◎第2部：シンポジウム テーマ「サイと免疫力～ガン・ウイルスとの闘いも含めて～」

12:50～12:55 大会委員長挨拶 三好 一郎 理事

12:55～13:00 司会進行 阿久津 淳(演者プロフィールを順次紹介)

13:00～13:20 三好 一郎「体力・免疫力だけで病に勝てるのか」

13:20～13:40 みちよ 「ウイルスと人の想念の関係性」

13:40～14:00 志賀 一雅「免疫力の促進と抑制」

14:00～14:20 佐藤 禎花「病から生還した免疫力を上げる方法」

14:20～14:40 休憩(20分)

14:40～15:00 三好 長子「遠隔治療・直接治療によるその効果」

15:00～15:20 久保田 昌治「日常生活でできる免疫力アップの方法」

15:20～15:40 伏見 真光「僧侶における健康法 胎蔵院メソッド」

15:40～16:30 パネルディスカッション

16:30～16:35 会員優秀発表表彰式 浪平 博人 会長

16:35～16:40 閉会のご挨拶 久保田 昌治 大会委員長

17:30～19:30 懇親会(希望者：当日受付)

第11回スピリチュアル研究 分科会のお知らせ

人生に奇跡を起こすサレン ダーの法則

講師 刀根 健氏

日時 令和2年10月31日(土)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ9階901会議室

交通 J R 京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員一千元(当日入会可)

一般二千元 学生一千元

※当日会場にて直接、現金にて

参加費をお支払い下さい。

内容

本講演では、私が肺癌ステージ4b状態からの生還によって体験した、サレンダーの法則をお伝えします。

私は2016年9月に肺癌ステージ4の宣告を受け、様々な経緯から標準医療ではなく代替医療を選択、約9か月間にわたる必死の

努力もむなしく癌は全身(脳・両目・リンパ・両肺・肝臓・左右の腎臓・脾臓・全身の骨)に転移しました。

やってやってやり尽くして、それでもダメだったという状況によって、それまでの自我(エゴ)が崩壊し、不思議な境地を経験しました。それは絶望ではなく、解放でした。

そして、その「すべてをゆだねる(サレンダー)」状態になると、不思議な出来事が次々と起こり、その約二か月後には全身に転移していた癌はほとんど消失してしましました。

当日は、癌になった原因も含め、サレンダー状態のときいったい何が起こり、それがどういう未来を引き寄せたのか、ゆだねることが奇跡を呼ぶ、ということを体験談の中でお話ししたいと思います。その中で、自我(エゴ)や思考を弛める方法など奇跡を呼ぶ「サレンダーの法則」を皆さんに体得して頂きたいと思っています。

◎刀根健氏プロフィール

OFFICE LEEELA(オフィスリーラ)代表。

東京電機大学理工学部卒業。大手商社勤務を経て、教育系企業に。心理カウンセリングの資格取得コースの開発や人事部門での教育・研修・制度開発を担当。

研修会社へ講師として転職し、防衛省や国土交通省など官公庁を始め、NTTなどの企業や病院を中心にコミュニケーションやリーダーシップ研修を通じ二万人以上の指導を行う。

また、ボクシングジムのトレーナーとしてもプロボクサーの指導・育成を行い、3名の日本ランカーを育てる。

癌になったのを契機に2018年に独立し、OFFICE LEEELAを設立、現在に至る。

著作「僕は、死なない」(ソフトバンククリエティブ2019)、「ストローク・ライフのすすめ」(フオーメンズ出版 2008)

平成31年4月本部例会報告Ⅱ

オーブ研究の最近について

講師 佐々木 茂美氏

佐藤 禎花氏

苗 鉄軍氏

オーブ(たまゆら)研究の現状

佐々木 茂美氏

現代社会は二元論、すなわち物と心からできています。

(1)形而上学・精神(心)は不安定、素粒子類似で定まらない

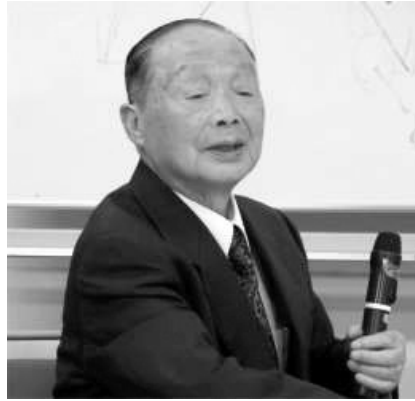
(2)形而下学・物は定まり、因果律、再現性、積み重ね(法則)に従う

それに対して不思議なことに、(3)サイ科学・心+物が一緒になっている↓異質である

ESP(超感覚的知覚)、テレパシー、遠隔視、PK(念力)、ポルターガイスト、たまゆら

そこで、我々はサイ科学の研究をしております。

サイ(気)とはどういうものか？これは、オーブの研究を介して、だいたいサイの性質が分かっています。サイの性質を使って、形而上学、形而下学に対してどのような応用ができるかを調べていくのか、ということなのです。



例えば、「たまゆら」について、お話し申し上げます。「たまゆら」は不思議なことに

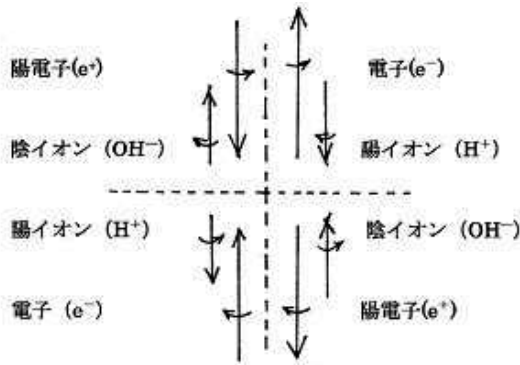
(1) 物と心が一緒になっている二面性があります。

(2) 物に近づけた心(ASC・変性意識状態)に共振して、出現する

(3) オーブは、私の「心の鏡」である

(4) オーブの構成要素は、イオン

SPIN対(陰・陽) ↓左図、サイSPIN対(陰・陽)、エアゾール、自己発光性の光(色)と考えられる



オーブの中にサイが入っているのが「たまゆら」です。オーブを実用的にどう使うかとなりますと、これはなかなか大変です。陰(マイナス)のエネルギーは生命の成長を助ける(エネルギーを与える)もので、ネガエントロピーなんです。陽(プラス)のエネルギーは相手のエネルギーを取るもので、この、性質が逆のものが対になっている

のが、サイとなります。そういうものが重なって、重なって、重なって、大きな玉になったのが、オーブ(たまゆら)になるわけです。そうすると、これに方向性を与えて実用化するということを考えたときに、どういうふうに向向性を与えるかということが、非常に重要になります。

実用化の二つの例を示します。

(1) 人工知能(AI)に「心の働き」を導入する。そのためには脳波を α 波から θ 波との境目辺りにして、心の働きを止め、ASC(変性意識状態)になると、物と通ずるので、オーブ(たまゆら)を介して、AIに「心の働き」を加算します。

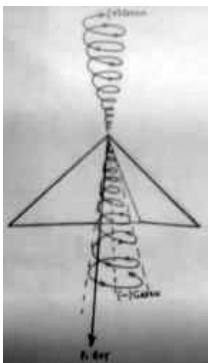
(2) サイ(気)により生命力を高める。すなわち生命促進作用を用いて、生命力を高める↓ネガエントロピー化する。

この二つの方向に応用実用化できると私は考えております。

エジプトのギザにクフ王の大ピラミッドがありますが、アメリカのクリストファー・ヒルズ氏がピラミッドの模型を作り、その元で30〜40年の瞑想を続けて、197

5年に、ピラミッドからプラスのグリーン・エネルギーとマイナスのグリーン・エネルギーが出ていくと報告しました。その効果についてしっかり科学的な実験をしていなかったのですが、その後進展しなかったのですが、日本サイ科学会の理事をしていた、故 山田孝男氏が1989年に「クルスタル・セブン(CR7)」を創りました。

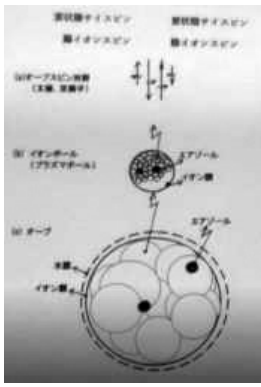
山田孝男氏は東北大学の工学、電気、教員養成所を卒業されたのですが、仙台の福来研究所で研修し、インドに渡航して瞑想修行しました。その後、日本に戻り、長年瞑想指導し、多くの門下生の中から、サイ(気)が見える弟子が数名出てきました。そういう弟子たちの意見も聞きながら、開発したのが、「クルスタル・セブン(CR7)」です。その実験は私がお手伝いしました。



この図はクリストファー・ヒルズ氏がアメリカで発表した図です

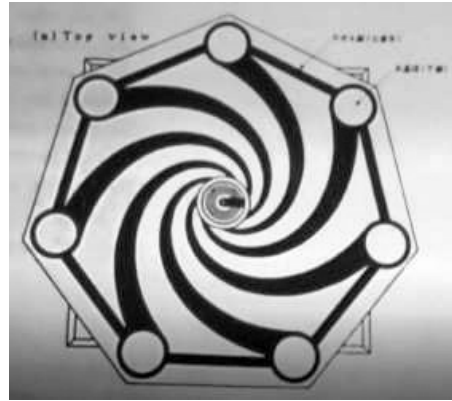
が、ピラミッド模型の上方に渦巻き状に上がるのがプラスのグリーン・エネルギー、下方に渦巻き状に下がるのがマイナスのグリーン・エネルギーです。これを元にして山田先生にお願いして装置を作っていたいただきました。それが「クルスタル・セブン(CR-7)」です。

オーブ(たまゆら)というのはどういうものか?と聞きますと、本質はフォトンで光なんです、上部の矢印がサイSPIN対で、それを大きくしたのが真ん中の図のイオンボール、それを大きくしたのが一番下のオーブとなります。実際に写真に撮れるのが、これです。(内部構造がある)



今から百年前に福来友吉博士が撮った念写の写真は、調べてみると、オーブとプラズマモイドの組

み合わせてできていることが分かったのです。

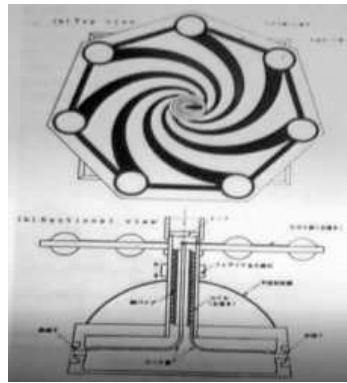


これがクルスタル・セブンを上方から見た図です。周囲の7つの水晶玉で集めたサイ(気)を右回りの螺旋状の銅板で真ん中の凸レンズに集めています。私とその効果を実験しております。

- (1) 金メッキした銅板、絶縁銅線コイル。空气中。
- (2) 螺旋状の陰(一)・陽(+)のエネルギー
- (3) 外気は、陰(一)・陽(+)のエネルギー
空気、水、水晶、電磁場、メタ

ル内部等、横波(または縦波)として移動している。

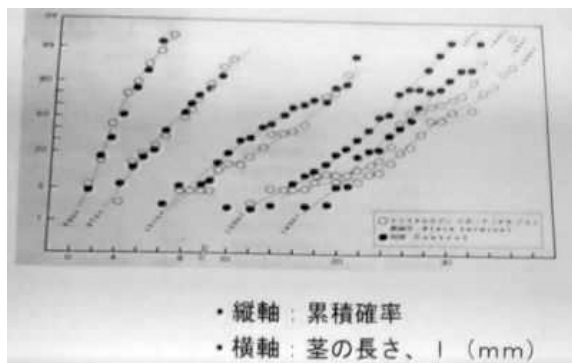
- (4) 外気は、電子(素粒子)、イオン、プラズマ、サイSPIN対群から構成されている。



右下図がクルスタル・セブンを真ん中で縦に切って、横から見た図です。上部の水晶玉で集めたサイ(気)は銅のパイプの中心を通るリード線から下部の左側の端子に、マイナスのグリーン・エネルギーとして、つながります。

真ん中の銅のパイプの内側は、左巻きのコイルになっていて、そのリード線の端が、下部の右側の端子に、プラスのグリーン・エネルギーとして、つながります。この構造は、瞑想をやっている人達から出てきたものです。

真ん中上部のレンズは凸レンズで、サイ(気)は光状なので、凸レンズで集められるのです。



これは実験結果です。縦軸は累積確率、縦軸は植物の茎の長さ(ミリメートル)です。

オーブ(たまゆら)のデジカメ(CD)による撮影方法
・近赤外線域(非可視、見えない)
・霧、噴霧↓偽オーブを何回も撮った後、真のオーブが撮れるようになる(見分けがつく)↓環境

設定が重要

・液晶画面で、シャッターの半押ししながら、オーブを探す↓加算効果利用

(1) オーブをお願いする↓オーブとの交流(マクロPK)

(2) 再現性は三分の一程度。慣れてくるとほぼ毎回撮れるようになる。水蒸気や霧の散布をしてみる

(3) 飽和水蒸気密度(気温、湿度)雨降りの前後に写りやすい↓湿度台風の後ではゴミが無くて写りやすい↓エアゾール

また

(1) 望遠ズーム無しするとき

・焦点距離は短い

・広角である(視野は広い)

・レンズ付近から遠方まで、ハッキリ写る

・レンズ付近の偽オーブ(埃、水滴、霧、昆虫等)が写りやすいので、要注意。

オーブは撮影者の心とカルマが反映する。撮る人が同じだとオーブは同じ模様となり、撮る人が違うと、オーブ内部の模様が人ごとに千差万別となる。

(2) 望遠ズーム有りのとき

・焦点距離は大きくなる・視野は狭くなる(拡大して見る)

・偽オーブが写り難い(ぼける)
・真オーブが写り易い(発光体、色付き像)

・成長過程のオーブ(柔らかい)が写る(動画オーブ撮影の条件)

変性意識状態(ASC)に入った状態でない時、オーブは写りにくい。

良い気の場合、零場の発見

(1) 力を拮抗させると接点に「相殺零」が出来る。

(2) 意識と無意識を対峙させて「零意識」とする。

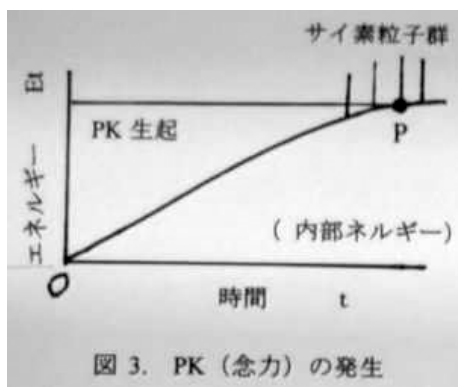
(3) 共通の「零」から、物と心の交流が可能。

(4) 零場には「量」と「質」の面がある。

(5) 物を不安定な変換点(相殺零)にまで、活性化させると、PKが発生する。同時に

(6) パルスの(零意識)に、イメージをする。

(7) すると、未知(PK)現象が発生する。



零場というのは物と心を交流させる場であって、零場でないとき交流ができません。しかも心のエネルギーが貯まっていないとだめなので、心のエネルギーをある程度貯めていって、パツパツと意欲でお願いすると、PKが生起します。

零(0)の意味

(1) マイナス1とプラス1の間の「無」を表す整数。

(2) 位取りの記数法に用いる(空位)。

(3) 古代西洋では、恐れ、拒絶した(悪魔、不気味)。

(4) 古代東洋では、歓迎した(創造神)。

現在零は、単なる数字の空位として使用される。

しかし、零は本当によく考えてみないと、サイの実験は成功しません。

オーブは

(1) 雨の降り始め(水との親和力は大)に出現しやすい

・ $H_2O \rightarrow H^+ + OH^-$ (電子)

(注) 空間電位、宇宙線のために、水蒸気はイオン化する。

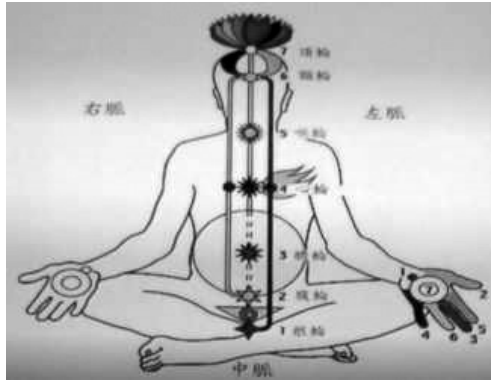
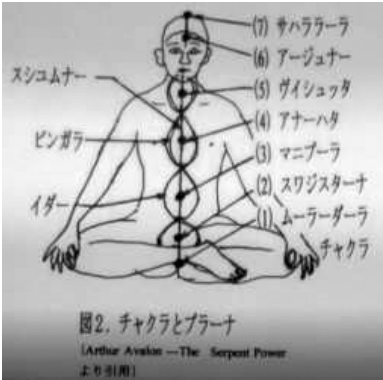
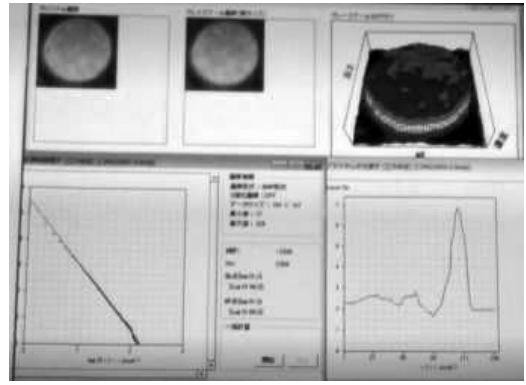
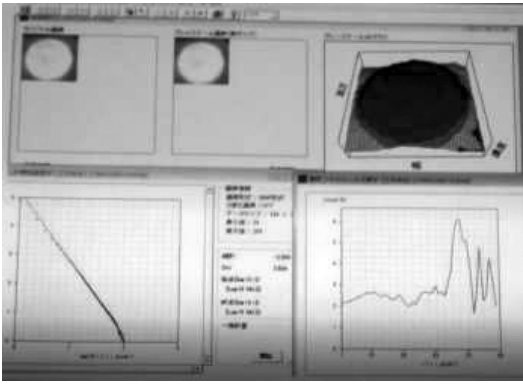
(2) 撮影者の心(変性意識状態…ASC) 付近に共振して出現する。

(3) 素粒子類似の性質がある(非局所、ランダム、に拡散)

(4) 不安定な波動の重ね合わせ、意識に従い、確率的に変化して、物質的な状態になる(物、位置)

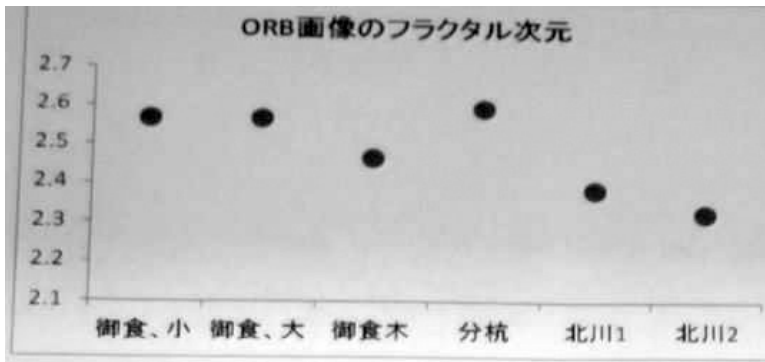
同じ場所違う撮影者が写真撮ると、2人共オーブは撮れるが、オーブの中の模様は違う。それは撮影者それぞれの心が反映しているからである。

オーブの中の模様は、その人の先祖も反映している。



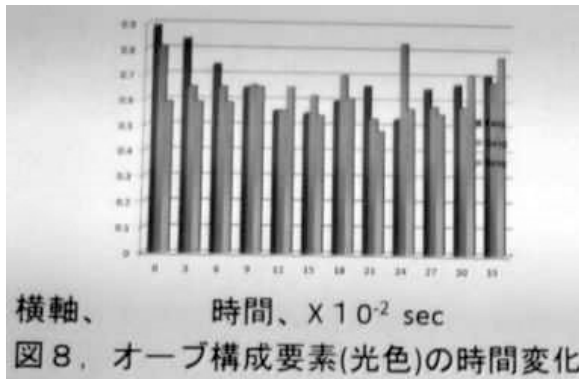
(5) 上の2枚の図はオーブの写真を雑音を取って、画像解析したもの(それぞれ右側上下)です。それぞれの違いが分かります。

これは苗鉄軍氏が実験、解析したオーブ画像のフラクタル次元の図です。



上の2枚の図は、右側が古代のチベットのチャクラ、伝統医学の図です。左側がインド、ヨーロッパで提唱されるチャクラの図です。

右図は、オーブをピクセルの3原色の時間的变化を解析したものです。
(8) オーブの多くは球面状である。平面状のものもある。
(9) 周りの環境(空間)の影響が大きい。



(6) オーブの構成要素は、イオンSPIN対(陰・陽)、サイSPIN対(陰・陽)、エアゾール等である。
(7) 自己発光性の光(色)から構成される。



右の写真はインドで撮った大仏様です。聖なる場所でオーブが撮れました。



右の写真は、昨年頃から東大寺の春日大社でも、堂内の写真撮影が許可になったので、撮ったものです。真ん中に大仏様があり、右にオーブが写っています。

(10) オーブは7・8Hzに同調し、その姿勢は、地磁気のN極、S極方向に向く。

サイSPIN群は、ベクトルがN極方向で、回転方向は赤道方向となる。

(質疑応答)

◎偽物のオーブと本物のオーブがあるということですが、偽物のオーブはどういうものですか？

(お答え) フラッシュをたくとゴミ等に反射して、光が写ります。また雨が降っているときに、写真を撮ると偽物が沢山撮れます。台風の後とか、大雨の後は空気中のゴミがないので、本物のオーブが撮れやすいです。とにかく、沢山写真を撮っているうちに、偽物のオーブと本物のオーブが分かってきます。

◎本物オーブと偽物オーブを区別する基準は、写真を見て経験上で判断するのでしょうか？

(お答え) 特に基準はないですが、オーブの模様等から感覚的に判断します。ただ、望遠で撮影しますと、光の反射がないので、本物のオーブが撮れるケースが多いです。

◎ビデオでオーブを撮ったことはありませんか？

(お答え) 佐藤禎花氏が撮っております。フラッシュをたかないでも、オーブが撮れています。

◎オーブは近赤外線範囲で撮れるので、安いカメラの方が、近赤外線の制限がかかっていないので、オーブは撮れるのではないのでしょうか？

(お答え) その通りで、CMOSイメージセンサーを使った高級カメラでは、オーブは撮れないですね。

◎今回出版された「オーブ・たまゆら」で最も訴えたいことは何ですか？

(お答え) 私にとって、一番重要な案件は、AI(人工知能)に心という不思議なものを、入れる道筋ができたということです。それはサイ科学の研究分野と直接つながることです。分かる人から、「これからはサイ科学が盛んになりましょう」と言われました。

第四四九回関西日本サイ
科学会研究集会報告

病める地球の処方箋

2020年は大転換期

講師 小澤 頼仁氏

日時 2020年6月20日(土)

13時30分～17時

講演内容

2020年の今、世の中は三界の転換期となりました。三界とは、天・地・人の三つの界のこと。天界とは、天上界であり神仏の世界で、地界とは自然界であり動植物の世界です。そして人界とは、人間社会であり、政治経済宗教などの世界です。現在の世界はコロナウイルス騒動をはじめ、それを端とする世界恐慌など、さまざまな問題を迎えようとしています。それらを三つの界から見れば、全く別の意味や意義が見えてくるのではないのでしょうか。

宇宙は「11次元」構造となっていますが、これについて、自らの次元の旅という体験により、誰に

でもわかりやすく、また高次元のパワーが誰にでも操れるように解説しました。また、旗揚げしたばかりの「愛地球党」代表として、政治を通していかに世界を変えていくのかという戦略についてもお話しさせていただきました。

講師のプロフィール…

小澤頼仁 OZAWA YORIHITO

愛知県生まれ。明治大学政治学部卒業。明治大学在学中に教職課程を取得し高校教師となるも「200年後の地球を美しく」をテーマに健康・美容関連企業である「ジェンティ株式会社」を設立、人の健康に良い商品の開発&地球の環境に良い働きをする商品の開発に取り組む。地球と人の健康をテーマに「地球再生事業」「地球医学活動」を展開。

宇宙を11次元構造で紐解き、宇宙と科学、政治経済と医療など、あらゆるイデオロギーを統合する。2012年12月天啓を受け、さまざまなパワーを司ることに。「一般社団法人フローシップジャパン」では、フリーエネルギー開発をメインテーマに、自然を汚さず枯渇もしない永久電池の開発と普及に携

った。

美と健康、地球再生、宇宙と人間教育をテーマに年間200回以上の講演をこなし国内外で勢力的に活動している。2014年スピリチュアル専門誌「アネモネ」紙面にて小澤頼仁特集記事「11次元とフォトンヒーリング」が掲載される。同年、月刊「玉響」誌においても「地球そのものを良くすれば、人は健康になれる」という、いわゆる地球医学が特集された。

また2016年同紙面にて「命の定義」が連載され、世の中を切り開く先駆者として、要人との対談などが海外でも好評を得た。ジェンティ株式会社社代表取締役。一般社団法人フローシップジャパン代表理事。愛地球党代表。

第四五〇回関西日本サイ 科学会研究集会報告

死ぬまで元気に生きられる 場の医学健康法

講師 生一 智之氏

日時 2020年7月18日(土)
13時30分～17時

講演内容

健康なときはともかく、重い病気にかかった時には誰もが健康のありがたさを認識します。人体(生体)には変動する電磁場が発生しており、これが生きている証となっています。体に異常があると電磁場に乱れが生じます。私たちはこの電磁場の乱れを感じて乱れを無くしたり小さくすることができますが、「場の医学」とは電磁場の医学であり、体内の電磁場の乱れを整える医学といえるでしょう。

私達が死ぬのは、主要臓器の少なくとも一つが不全になるからですが、劣化した臓器を自分で確認して改善していけば、不必要な早死を防ぐことができます。老化を早めるのは、腎臓、副腎、肝臓の悪化ですが、これらの臓器を改善すれば、老化を遅らせるだけでなく、若返ることも可能です。殆どの病気は、血液(体液)障害・停滞の長期化で発生する慢性炎症もしくはその結果ですが、慢性炎症の原因は慢性ストレスです。

ここでは、健康を維持する方法

として、

1. 健康を維持する呼吸の仕方
2. 心筋こうそくなど、心疾患の有無を確認して、その症状を改善する方法
3. 脳こうそくなど、脳血管の疾患の有無を確認して、それを改善する方法
4. 内臓疾患(慢性炎症)の有無を確認して、それを改善する方法

などをお話ししました。さらに、風邪やインフルエンザは予防可能で、肺炎も1〜2週間で治ります。いま世界を騒がせているコロナ禍も簡単に防げ、また治せるはずなのでこの点についても解説、さらに「10種類の性格とその見分け方」についても簡単に紹介しました。

講師のプロフィール…

生一智之(キイチ トモユキ)

1980年代後半に静岡で大学の設立に関与するも体を壊し、薬や手術に頼らない医学、体に優しい医学の模索と追究を始めた。2000年代初め故郷である大阪に戻り「場の医学」を確立、「病氣社会から健康社会へ」世界を変えることを目的に、難病快復のボ

ランティア活動を行っている。

大阪大学大学院理学研究科物理化学コース博士課程満期退学。物性理論、量子化学、エレクトロロミネッセンス(電子冷光)を専門分野とする。富士写真フイルム足柄研究所研究員、学校法人静岡理工科大学大学設立準備委員及び常勤講師、未来型発光素子の開発プロジェクト協同研究員などを経て、現在「場の医学協会」「トルレーキ(療)法研究会」代表。著書に「なぜ医者の治療を受けると早死するのか―健康社会への道―」など。



本部例会ビデオ映像販売のお知らせ

ハイビジョン映像・音声ファイル(約3時間)を記録したUSBメモリーでお送りしますので、ほとんどのデスクトップあるいはノート型のウインドウズ・パソコンで見ることが出来ます。

価格 1本につき 二五〇〇円
(送料含む)

※御注文はメールまたはFAXで

左記に掲載のメールアドレス(またはFAX番号)に、「20※※年〇月〇〇〇氏ビデオ購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。2週間以内に発送致します。

office21@psi.mail-box.ne.jp
FAX 047・330・4091

お支払いは、到着後同封の郵便振替用紙で8日以内にお振り込みただければ、結構です。

以下のビデオ映像から、御注文願います。

◎2013年4月本部例会

講師 大野百合子氏

「宇宙図書館(アカシックレコード)から見た世界の仕組みと私たち―あなたは誰なのか―」

◎2013年5月本部例会

講師 浪平博人氏

「イメージによる瞬間教育」

◎2013年6月本部例会

講師 松原秀樹氏

「アレルギーを治す秘訣」
◎2013年7月本部例会
講師 酒向猛氏
「千鳥学説を知るために」

◎2013年9月本部例会

講師 奥野節子氏

「ブラジルの奇跡のヒーラー
ジョン・オブ・ゴッド」

◎2013年10月第23回全国大会
シンポジウムテーマ

「サイと自然治癒力」

◎2013年11月本部例会

講師 小久保秀之氏
「生体センサによるサイ研究―超能力研究の最前線」

◎2014年1月本部例会

講師 小川博章氏

「魂の発見」
◎2014年4月本部例会

講師 西川真知子氏

「生命の智慧 アーユルヴェーダ
―アーユルヴェーダから見る生命のすばらしさ―」

◎2014年5月本部例会

講師 岩根和郎氏

「般若心経とサイ科学」
◎2014年6月本部例会

講師 秦西平氏

「気超科学と宇宙生命哲学
新病気学」
◎2014年7月本部例会

講師 小林信正氏

「ラップ現象の究明くオーブとの
関連性について」

◎2014年9月本部例会

講師 石川允朗氏

「死後の世界と輪廻転生についての
一考察」

◎2014年10月第24回全国大会
シンポジウムテーマ

「サイと天変地異」

◎2014年11月本部例会

講師 坂井洋一氏
「日本人は知らない！縄文日本の
驚くべき真実」

◎2015年1月本部例会

講師 英国からの特別ゲスト
THE SOURCE CODES

ソースコードは何ですか？
◎2015年4月本部例会

講師 根本泰行氏

「水からの伝言」と「新しい水の科
学」

◎2015年5月本部例会

講師 水華氏

「君を見放したりはしない―宇宙
神技点描画家―水華の世界(ヒカ
ランド)」

講師 上部一馬氏

「巨大地震を1週間前につかめ」
◎2015年6月本部例会

講師 末武信宏氏

「先端アンチエイジング医療&超
人を生む自律神経の開発」

◎2015年7月本部例会

講師 飛沢誠一氏

「見えない世界の情報を如何に活用するか？」

◎2015年9月本部例会

講師 山田欽子氏

「あなたの人生が楽しくなるインド占星術」

◎2015年10月第25回全国大会

シンポジウムテーマ

「あの世と多次元世界」

◎2015年11月本部例会

講師 坪井香讓氏

「野性と霊性・ヒトの原点」

◎2016年1月本部例会

講師 佐々木 茂美氏

「直立二足歩行」から問う」

◎2016年2月本部例会

講師 佐藤 禎花氏

「オーブ研究の現状報告」

◎2016年2月本部例会

講師 正木 晃氏

「靈魂観の現在」

◎2016年4月本部例会

講師 沖田 祐美子氏

「神々の謎」

◎2016年5月本部例会

講師 河野 貴美子氏

「意識、無意識、そして潜在能力を脳の観点からどこまで解明できるか？」

◎2016年6月本部例会

講師 エスパー・小林氏

「運」がつく人、「霊」が憑く人」

◎2016年9月本部例会

講師 志賀一雅氏

「7.8Hzのローα波の驚異」

◎2016年10月

創立40周年記念大会

シンポジウムテーマ

「地球外知的生命・UFOと宇宙人(宇宙人サミット)」

◎2016年12月本部例会

講師 藤枝 伸二氏

「藤枝流健康増進法」

◎2017年2月本部例会

講師 秋山 佳胤氏

「私たちの存在の本質について、波動的、物質的視点から考える」

◎2017年4月本部例会

講師 池川 明氏

「子供達の出産前の記憶が教えてくれること」

◎2017年6月本部例会

講師 大高 ゆうこ氏

「自分も知らない自分と出会うー夢のチカラ」

「子供サミット」

生れる前の記憶を持っている子供たちと、たいわ士の南山みどりさんのたいけんトーク会」

◎2017年6月本部例会

講師 秋山 眞人氏

「40年余の宇宙文明コンタクトから判ってきたこと、異星人と意識」

◎2018年7月本部例会

講師 清水 浦安氏

「愛宕なみ氏

「人類の存亡を分けるもの」

◎2017年9月本部例会

講師 石川 允朗氏

「健康で長生きすることを科学的と心霊的、そしてSWIIについての実演」

◎2017年10月第26回全国大会

シンポジウムテーマ

「AIを乗り越えるのは？ AI」人

工知能」vs PSI「サイ能力」

◎2018年2月本部例会

講師 篠浦 伸禎氏

「覚醒下手術から始まる統合医療」

◎2018年4月本部例会

講師 七沢 智樹氏

「ロゴストロンシステムが拓く未来」

◎2018年6月本部例会

講師 由井 寅子氏

「体・心・魂を三位一体で治療に導く 未来の医学『ZENホメオパシー』」

◎2018年7月本部例会

講師 清水 浦安氏

「愛宕なみ氏

「天界に帰還した中村天風先生が今の日本人に伝えたいこと」

◎2018年9月本部例会

講師 秋山 眞人氏

「40年余の宇宙文明コンタクトから判ってきたこと、異星人と意識」

◎2018年10月第27回全国大会

シンポジウムテーマ

「水と健康」

◎2019年2月本部例会

講師 東中川 徹氏

「エビジェネティクスとは何か？」

◎2019年4月本部例会

講師 佐々木 茂美氏

「オーブ研究の最近について」

◎2019年6月本部例会

講師 小久保 秀之氏

「マイクロPK現象の発生メカニズムについて」

◎2019年9月本部例会

講師 志賀一雅氏

「脳波とバンアレン帯との共鳴について」

◎2019年10月第28回全国大会

シンポジウムテーマ

「スピリチュアル・ヒーリング」

◎2020年2月本部例会

講師 アマナ(呉清恵)氏

「カタカムナ潜在物理」を基にした生命創造の基礎構造(仮説)による意識体ゼロ化を可能にするヒーリングメソッド」

◆ ◆

故 関英男先生のサイ関係 (+ α) の主要な御著書 (在庫のあるもの)

	定価	送料
加速教育法 (1990: 加速学園出版部)	2,100 円	(300 円)
加速学習法 (1995: 加速学園出版部)	2,550 円	(200 円)
サイ科学の全貌 (1991: 工作舎)	1,995 円	(200 円)
グラビトニックス (2000: 加速学園出版部)	1,000 円	(160 円)
念波 (1990: 加速学園出版部)	800 円	(160 円)
CD: 生命と宇宙 [講演録 72 分] (1998: 船井メディア)	3,000 円	(160 円)
謎のオズマ計画 - UFO との関連 - (1976: USL)	190 円	(80 円)
FIVE DIMENSIONAL WORLD (1974: 英語版)	1,000 円	(160 円)

※「深宇宙探訪記」は大幅に値下げ致しました。

以下オスカー・マゴッチ著、関英男先生監修

深宇宙探訪記 (上) (1991: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
深宇宙探訪記 (中) (1992: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
深宇宙探訪記 (下) (1992: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
VHS ビデオ: オスカー・マゴッチ氏の講演 (2h40m)	3,000 円	(200 円)
VHS ビデオ: ティモシー・ワイリー氏の講演 (2h45m)	3,000 円	(200 円)

※ビデオは日本語逐次通訳付きです。

お問合せ、御注文は先に下記の E-mail、または FAX 宛にお願い致します。

その際、書籍名と送り先の郵便番号、住所、氏名、電話番号もご記入願います。

ご返事で送料を含めた代金やお振り込み方法等のご連絡を致します。

※正式な御注文から 2 週間以内に発送致します。

※ 1 種類で沢山の部数を御注文の場合は、事前に在庫を下記の E-mail または FAX で確認して頂いてから、お願い致します。

※以上の書籍は今後増刷がありませんので、在庫が無くなりましたら、ご容赦願います。

< お問い合わせ >

日本サイ科学会事務局 〒 271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町 41-506

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

FAX 047-330-4091

→形成的因果作用の仮説(形態形成場・形態共鳴) = 「木の葉が揺らいでも宇宙は振動する」。つまり、森羅万象すべてがつながりがあるというわけだ。

最後になるが、超能力いわゆる EPS (Extra

Sensory Perception) は、超能力というより知覚領域を拡張する技術。ダウジングは、人間(生物)のもつ潜在的知覚能力の活用 (ESP=Extended Sensory Perception) であってだれもがもっている能力といえる。鍛えれば、だれでもダウジングができるようになるのである。

「掛け軸・信仰対象物」にもサイ{気}が保存されている

栗田 慶祐

福来友吉先生は、今から110年前の1910年に「念写」を発見いたしました。そして、念{心}は時間や空間を超えて宇宙に広く充満している、と述べました。心は、意識と変性意識状態(ASC)と無意識から構成されております。

脳波をさげて(7~8Hz) ASCになり、肉眼を使わないで{目隠し}、物を見ようと強くイメージ(意念)すると、透視が可能になります。実験の結果は次記です。透視時には、無意識の一部が体外に放出されて意識体になり、肉眼にかわって物を見て、意識に伝えます。

つまり、脳内スクリーンに部分的、局部的に伝え、これを受けた意識の働きによって、それらが再構築されて、全体像ができあがります。なお、意識体は、体外の空間にも存在しております。

変性意識状態(ASC)になった人の願い{祈り}の一部は、信仰対象物{掛け軸}に、意識体として保存されていると考えられます{透視と同一機構}。そこで、いま、掛け軸の「サイエネルギー」を(水に転移して)測定いたしました。結果として、エネルギーは測定されました{現在は3個所×8dayのみ}。なお、念写像の分析の結果から、意識体は陰陽サイspin対{光子}、{類電子}、であると、判断しております。以上等から、「掛け軸・信仰対象物」にも、信仰者のサイ{気}が保存されている事が分かりました。また、これらにより、福来博士の主張の正当性がほぼ確かめられた、と思っております。ご指導戴いた品川次郎先生にお礼申し上げます。



図1. 水の電気伝導度の測定装置

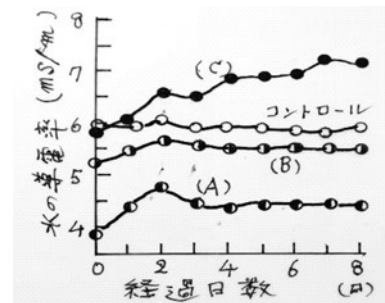


図2. 掛け軸のエネルギー測定 (1)

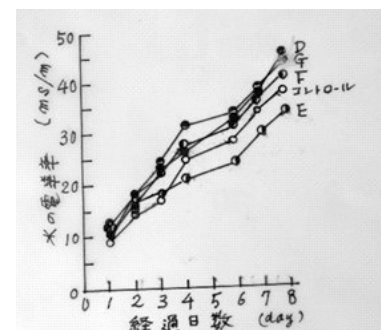


図3. 掛け軸のエネルギー測定 (2)

山のM食品工場での水脈リサーチ、深井戸掘削などを進行、その過程でわたし自身もダウジング技術を習得した可能性がある。「当てもの」でなく「サイエンス」としての「ダウジング」をコックス氏から学んだわたしは、大脳や感覚器官との関連、形体やイメージの共鳴現象などに知見を拡げることができた。その結果、マップダウジングによる各種のリサーチやフォトダウジングにより、医師や鍼灸師と連携して困難な症状を改善するといった事例をいくつか確認するに至っている。したがって、ここでは目に見えぬ霊的現象としてではなく、エネルギーの流れやその強さなどを追跡する技術としてのダウジングの有用性について、お伝えしたい。



古代からおこなわれてきた水脈探知術「ダウジング」の応用範囲は広く、都市(まち)づくり(風水)から埋蔵資源の発掘、災害時の生存者や破損水道管の発見などに役立てられている。遠隔透視(RV)やラジオニクスもダウジングからの派生技術。近年では電磁波や放射線、超音波などによる可視化が進んでいるが、「感覚」を拠り所とした「ダウジング」は最も簡便で安上がり、しかも微細なエネルギーが測定できるという点では「科学技術」に勝っているかもしれない。左右脳の使い分けによって知覚脳力をアップ、未来予知を可能にするのもダウジングの効用といえる。

「ダウジング」は、ラブドマンシー(棒占い)ともいわれ古代から井戸掘りや埋蔵物を探す技術として知られており、僧・空海が用いた錫杖(しゃくじょう)もこれにあたるかもしれない。ダウジングの語源は英語の「DOWSE (PLUNGE)」で、わが国なら、下駄を放り上げて裏が出るか表が出るかといったイメージに近い。もともとは水源や鉱脈を見つける技術として発達したダウジングだが、現在では、行方不明者の追跡、戦場での地雷回避、地震断層の発見、水質や毒物検査、水道管や電線の破損箇所探知、古代遺跡や埋蔵資源の発掘など広範囲に利用されている。もちろん競馬や宝くじなど、ギャンブルにも応用できようが、ここでは「占い」や「ゲーム」とは区別したい。

機械類の故障箇所や人体における不調箇所の特定も可能。ラジエステスア(遠隔医療)、

遠隔透視(RV)、ホメオパシー(同種療法)、オーリングテスト(キネシオロジー)、「風水」(環境テクノロジー)などはダウジングからの派生、あるいは類似の技術である。有害なガスや電磁波、放射能、さらにピラミッド・パワーや人体オーラ(エネルギー場)の検知、水や食品の品質チェックなどにもダウジングは役立つし、震災時には生存者の発見にも大きな手助けとなりそうだ。

ところで、なぜ探知できるのか、といったダウジングの原理だが、基本的にはわたしたちの大脳と感覚器官による情報探知と振り子などかんたんな器具によるフィードバックとかんがえられる。情報をもたらすのは右脳(無意識、潜在意識)で、これを解釈するのが左脳(顕在意識)。左右の脳を統合する前頭葉は、「直観」の場所といえるかもしれない。

では、未知の(顕在化されていない)情報を受容、収集するのは、どのような原理によるのだろうか。

- 脳は類似の音やパターン、事例に反応(共振、共鳴)しやすい
- 意識にのぼらない(目に見えない)未知のエネルギー放射でも脳が感知している可能性がある
- 必要とする情報を地球上のさまざまな情報源から右脳が探している

といった仮説がなりたつが、ダウジングにより、脳や知覚器官が感知したパターン(情報)が同種のパターン(波動)に共振、共鳴、さらに木の枝や振り子などに伝達されると推測される。探していた情報が、たまたま本棚から落ちてきた本に記載されていたり、思わず口からでた言葉が現実になったりする(シンクロシティ)のは、すでに右脳が探知した情報が、“偶然を装って” 私たちに伝えられているだけという見方もできよう。

「システムとシステムの間にはどんな空間的・時間的隔たりがあろうとも、そこに起きる形の共鳴の強さは必ずしも減じられない」、「過去に存在した同じような形態の存在の影響を受けて、過去と同じような形態を継承する」ことを看破したルパート・シュルドレイクの「形態形成場理論」がこの仮説を補強するだろう。



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp
公式サイト <http://psi-science.org> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

日本サイ科学会と『UFO』。そして『ダウジング』の現在

関西日本サイ科学会会長 和田 高幸

はじめに

1980年9月14日の夜半、わたしは高校時代の後輩で音楽仲間のM君(故人)と共に、「空飛ぶ円盤」いわゆるUFO(未確認飛行物体)と接近遭遇し、至近距離での撮影に成功した。待ちに待った結果として実現した出来事だが、抑え難いうれしさといった感情はともかく、それまでにはなかった特別な意識の状態を初めて体験した。つまり、興奮していて夢中になっていたにもかかわらず、目前の現象を冷静に観察、撮影している、といった相反する事象を同時に、あるいはパラレルに実行、知覚しているという現象である。つまり「意識」がいくつかの行動を正確にモニターしているのである。たとえば、無音で空中をスライスするように飛行する物体に気をとられながらも、わたしは付近の住宅から漏れ聞こえるピアノの練習音を聞いていた、というようなことを記憶しているのである。哲学的にいえば「二元論」の統合、あるいは並列化された知覚の一元的共有といった意識場であるかもしれない。一種の「変性意識」(ASC)でもあろう。

このような不思議な、あるいは異常な体験の結果生じた疑問を解決したいと思っていた矢先、わたしは「日本PS学会」(現日本サイ科学会)の研究集会に参加した。東京(関英男会長)と同時に大阪(木村六郎会長・副会長)でも研究集会がスタートし、電気炊飯器やエレキギター、バイオライトや低周波治療器の発明者として、またフーチ占いなどで知られる大阪大学の政木和三先生が、毎回かならず同

席しておられたことが記憶に新しい。木村六郎氏の長女・のり子さんが事務を担当しておられたが、数年前他界され事務局は新体制となった。長男の陽一氏(KPS名誉顧問)はご健在で、傘寿を超えた現在もドラム奏者として、松下の音響研究所勤務時代の部下でピアニストの小川理子氏(パナソニック役員)とトリオを組むなどご活躍である。

「UFO」との出会いを契機として接近したPS学会(現関西日本サイ科学会)であるが、当時勤務していた産経新聞社(大阪)の仕事が忙しく、かなりの期間離れていたが、研究集会の講師で招かれたことも何度かあり、副会長を経て会長職で再登場することになった。関西日本サイ科学会の会長をお引き受けした矢先、親戚筋となる和歌山県立医大の高木先生もUFO研究家であることがわかったが、すでに10月17日の研究集会講師としてお招きしている。家内の法事を契機として拙著「未知の彼方へ」(浪速社刊)が目にとまり知遇したらしい。

さて、約40年前UFOとの接近遭遇をきっかけとして入会したサイ科学会であるが、現在は「ダウジング」のニーズが高まっているためか、昨年スタートした分科会「ダウジング講座」はすでに6回と数回の補講を終了、「ダウジング研究会」として継続中である。ダウジングについては、90年代の初めころ、「サイ・テクノロジー」(工作舎)の著者、故井村宏次先生にアメリカのトップ・ダウザー、ビル・コックス氏(故人)を紹介され「スーパーサイエンス・シンポジウム」(産経新聞社主催)を実施、またコックス氏と協同で淡路島のY学園や福知